日本学術会議「脳と意識」分科会・日本心理学会第 82 回大会公開シンポジウム

融合社会脳研究の創生と展開

日本学術会議「脳と意識」分科会（委員長・苧阪直行）では、脳がどのように社会性を育み、維持するのかを、心理学を中心とする人文社会科学を軸として脳科学や情報学を含む学際的な視点から継続的に検討し、社会脳(social brain)という革新的な融合科学を創生すべきだと考えるに至った。本シンポジウムの目的は、そうした融合社会脳研究の概念を提唱し、その研究の中核拠点形成を意識した論議を深めることにある。大平は、脳と身体の機能的メカニズムが、複数個人間の共感、協力、葛藤などの社会的相互作用をいかに形成していくかを論じる。川畑は、近年の感性研究では心理学や神経科学と美学、哲学、芸術史学、工学、医学等との融合が進みつつあるという現状を踏まえ、実験美学の観点から哲学や美術史の問題をどのように心理学が克服し実証しうるかを提唱する。坂上は、意思決定を規定すると考えられている前頭前野を中心とするモデルベース的機能と大脳基底核を中心とするモデルフリー的機能を概観し、ヒトや動物の社会的意思決定において、これらの機能がどのような役割を果たしているかを議論する。本シンポジウムでは、話題提供者と指定討論者のインタラクティブな議論を通じて、社会脳研究の可能性と今後の課題を浮き彫りにすることを志向する。

開催日時：平成 30 年 9 月 26 日（水）13:10～15:10
会　　場：仙台国際センター　会議棟 2 階（萩）

■プログラム

13:10 開会の挨拶・司会
日本学術会議連携会員・大阪大学名誉教授　苧阪　満里子

13:11 趣旨説明
日本学術会議連携会員・京都大学名誉教授　苧阪　直行

13:15 講演１「協力性と利己性の神経基盤」
日本学術会議連携会員・名古屋大学大学院情報学研究科教授　大平　英樹

13:35 講演２「神経美学の最近の展開と持続可能性を巡る国際動向」
日本学術会議連携会員・慶應義塾大学文学部教授　川畑　秀明

13:55 講演３「意思決定に関わる 2 つの神経回路と向社会性」
日本学術会議連携会員・玉川大学脳科学研究所教授　坂上 雅道

14:15 指定討論１
日本学術会議連携会員・京都大学大学院文学研究科教授　蘆田　宏

14:25 指定討論２
日本学術会議連携会員・東京都医学総合研究所客員研究員　渡邊　正孝

14:35 指定討論３
日本学術会議連携会員・星槎大学大学院教育学研究科教授　仁平　義明

14:45 全体討論・司会
日本学術会議第一部会員・金沢大学国際基幹教育院教授　松井　三枝

15:10 閉会

どなたでも参加いただけます
参加費
無料

■主　　催　日本心理学会，日本学術会議 心理学・教育学委員会 「脳と意識」分科会

■お問い合わせ先
東北大学　日本心理学会第 82 回大会準備委員会
TEL 022-263-6712; FAX 022-263-6693
Email：jpa2018@ml.tohoku.ac.jp

＜アクセス＞